

岩手県大槌町「農業的土地利用に向けた取組の推進」

目的・背景

町中心部の未利用地活用にあたり、新たな産業を誘致することで、若年層にとって魅力ある就労や活動の場を創出

- 町中心部（町方地区）に残る未利用地を活用した移住定住促進や関係人口増加の重要な要素である若年層にとって魅力ある新たな就労や活動の場の創出が急務。
- 町方地区で新たな産業として検討が進むブルーベリー農園事業の本格的な事業化に向けて、専門講師の指導の下、試験栽培による栽培可否の検証及び、観光を軸としたブルーベリー農園として事業化した場合の事業計画の策定を行う。

取組とその効果

- 町内5個所で実施した同一育成方法による試験栽培にて、町内事業者の基本的なブルーベリー栽培技術の知見獲得と、町方地区未利用地における育成方法の課題の把握
- ブルーベリー農園の事業化に向けた事業計画案の作成と事業実現に向けた課題の明確化
- 未利用地を活用したブルーベリー農園の実現に向けたアクションプランの策定

取組経過

6～8月 ブルーベリー農園事業者を講師に招いた**試験栽培・ワークショップの実施**
 商圏分析や卸先ヒアリング等による**投資・収支計画案の検討**

9～11月 ブルーベリー農園の**事業計画案を策定**
 生育状況や資金調達等の懸念から、**事業化判断の延期を決定**

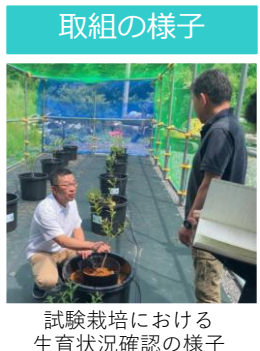
12～2月 試験栽培と事業計画検討の継続を踏まえ、**事業化に向けた次年度以降のアクションプランを策定**

今後の方向性

- 育成方法の確立のため、**ブルーベリーの試験栽培を継続**
- 観光以外の販路を模索し、**複数の販路を組み合わせた事業計画を策定**

令和8年度：ブルーベリーの試験栽培を継続。（複数の条件設定のもと、町方地区の未利用地の栽培環境に合った育成方法を検証。）
 観光以外の販路の模索による収益計画の改善策を検討。（観光に加え、直売、加工、ふるさと納税返礼品等の複数販路の組合せを検討。）

令和9年度：ブルーベリーの試験栽培の完了と農園事業展開に向けた準備



取組成果

△生育状況の差

No.	概要	ケース1
1	ブルーベリー本数	500本
■必要面積		
2	1本あたり必要面積	5㎡
3	圃場面積	2,500㎡
4	必要駐車台数	15台
5	1台当たり面積	20㎡
6	駐車場面積	300㎡
7	事務所 カフェ	100㎡
8	栽培・育成スペース	200㎡
		合計 3,100㎡

△モデルケースとの商圏分析

■苗にかかる投資金額		
9	ブルーベリー苗木本数	600本
10	1本あたり単価	3,000円
		投資金額 1,800,000円

■土地整備（整地・防草シート・防鳥ネット整備）

11	整地 1㎡当たり単価	1,500円
12	整地 面積	3,100㎡
		投資金額 4,650,000円

■事務所・カフェ整備費用		
13	事務所 1㎡当たり単価	50,000円
14	事務所面積	100㎡
		投資金額 5,000,000円

△先進事例調査

■自動灌水システム		
15	自動灌水システム	5,000,000円

△事業収支計画（一部抜粋）